

新会長挨拶



全国油脂販売業者連合会
会長 館野 洋一郎

昨年10月の総会において、全国油脂販売業者連合会の第21代の会長に就任いたしました、館野です。3期6年務められた宇田川前会長の後任としては甚だ力不足と存じますが、皆様のお力添えを賜りながら油脂業界の発展に尽力いたす所存ですので、宜しくお願い申し上げます。

さて、3年間続いたコロナ禍も、ワクチン接種や治療薬の認可等が進む中、本年は収束に向かいつつあるものと承知しております。

食品業界においても、国内外の旅行者が増えるなど人の動きが活発化する中で、飲食店の利用客の回復も顕著ですが、他方、新たなライフスタイルによる消費者の食の場面や嗜好の変化も定着しつつあり、飲食店のみならず、その取引先である卸・問屋、そして食品メーカーや生産者にとっても、需要のシフト・変化への対応は引き続き喫緊の課題となっており、油脂業界もその例外ではありません。

また、特に昨年は、地球温暖化による世界各地の異常気象の影響で油脂原料の生産が不安定化する中、歴史的な円安相場も相まって、油脂の価格高騰と供給不安が深刻化した歴史的な年になりました。さらに、米中対立の激化、ロシアのウクライナ侵攻といった国際情勢の変化にも起因する資源・原料高が、物流費・エネルギー費等のコスト上昇をもたらし、油脂業界各社の収益を圧迫しているものと承知しております。

このような需要と供給の状況は、その様々な背景を鑑みますと、今後数十年に亘って継続する可能性が大きいものと考えられます。私達は、大きな歴史の転換点の真只中にいるという認識を持つことが肝要と存じます。

しかしながら、そのような中であっても、油脂が国民の健康に不可欠な三大栄養素の1つであることに変わりはありません。WBCの盛り上がりの結果、野球（ベースボール）の裾野が広がるとともに、米国のメジャーリーグの価値（ブランド）が向上したように、油脂業界においても、メイド・イン・ジャパンの油脂や、これを用いた食品・料理の価値を国内外に広げ、ブランド化を図る取組を行なっていくことが、安定供給と併せ、私達の最大の使命と考えております。全油販連といたしましても、「コロナ後」においても、油脂メーカーの皆様と共に、ユーザーの皆様や消費者の方々にとって従来以上に「価値ある存在」になるべく取り組んでまいり所存ですので、御指導・御鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

結びに、油脂業界の皆様の御健勝・御多幸を心より祈念申し上げ、御挨拶とさせていただきます。